

稲作情報(Vol.4)

平成30年7月4日
宮城県石巻農業改良普及センター
石巻地方米づくり推進本部
TEL:0225-95-7612 FAX:0225-95-2999
<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-sgsin-n/>

気象経過 ～ 高温多照傾向～

- ◎ 田植え後6月上旬まで高温多照が続いた後、6月中旬が低温少照となりましたが、6月下旬に再び高温多照となりました。
- ◎ 6月下旬の平均気温は平年差+2.8℃と高く、日照時間は平年比195%と多くなりました。
- ◎ 東北南部の梅雨入りは、平年より2日早い6月10日ごろと発表されていますが、5月下旬から少雨傾向が続き、6月下旬の降水量は平年に比べ18%と少なくなりました。

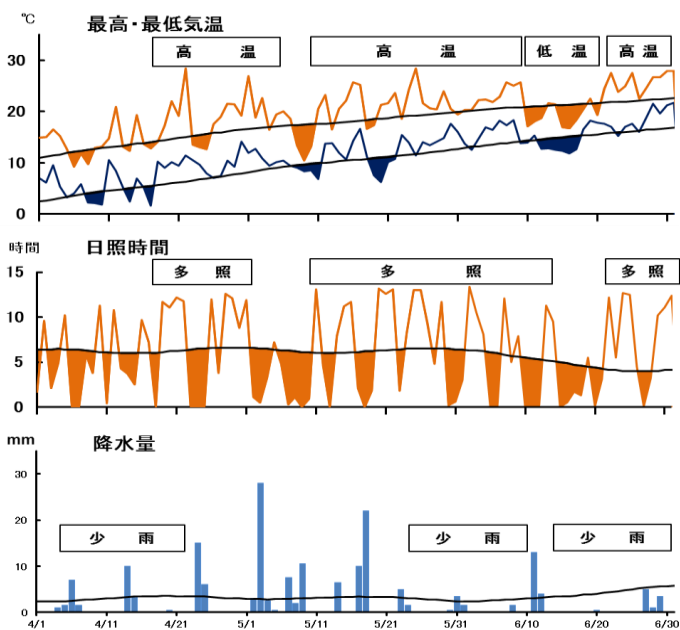


図1 田植え後の気象経過(アメダス石巻)

生育調査ほの生育状況

- ◎ 草丈は、平年比100～101%と平年並みとなっています。
- ◎ 茎数は、平年比100～106%と平年並みになっています。
- ◎ 葉数は、平年差+0.5～+0.6枚で平年よりやや多くなっており、葉数からみると平年より3日程度生育が進んでいます。
- ◎ 葉色は、前回より濃くなり、平年差-0.9～+1.0で平年並みになっています。

表1 生育調査ほの調査結果(7月2日現在)

品種	調査ほ場	移植日(月/日)	草丈(cm)		茎数(本/m ²)		葉数(枚)		葉色(SPAD値)					
			前年比(%)	平年比(%)	前年比(%)	平年比(%)	前年差(枚)	平年差(枚)	前年差	平年差				
ひとめぼれ	石巻市広瀬	5/5	53.2	125	101	615	120	109	10.9	0.9	0.6	43.9	-1.2	1.5
	東松島市小松	5/5	50.8	127	102	639	93	103	10.7	1.0	0.6	40.3	-1.7	0.6
	平均	5/5	52.0	126	101	627	105	106	10.8	1.0	0.6	42.1	-1.5	1.0
ササニシキ	石巻市桃生町寺崎	5/10	48.1	127	107	578	95	95	10.1	0.3	0.6	37.3	-3.0	-0.8
	石巻市井内	5/8	44.5	114	93	555	110	107	10.6	0.2	0.3	39.8	-2.7	-0.9
	平均	5/9	46.3	120	100	566	102	100	10.4	0.2	0.5	38.6	-2.9	-0.9

※平年値は過去5か年平均。

〔ひとめぼれの生育経過〕

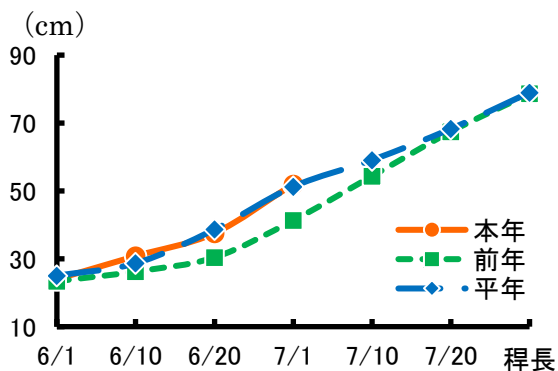


図2 草丈

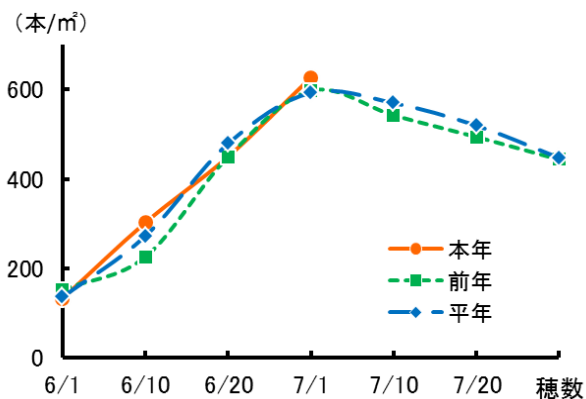


図3 茎数

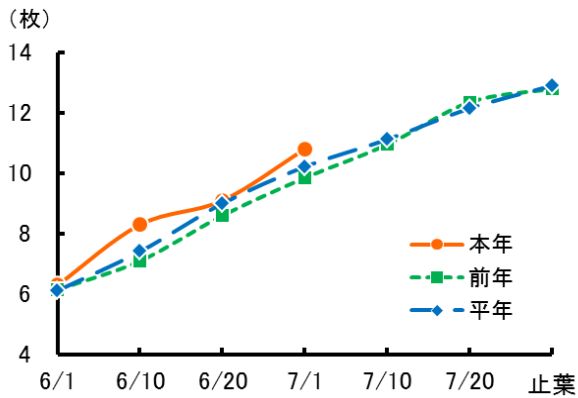


図4 葉数

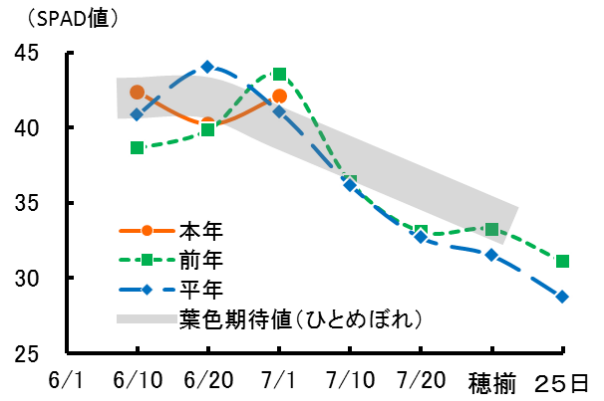


図5 葉色

除塩調査ほの生育状況

- ◎ 長面ほ場は、移植が遅かったことや地力が低いことから生育量が少なくなっています。また、隣接ほ場の一部では、灌水不足により土壌塩分による葉先枯れが生じましたが、灌水により回復しています。
- ◎ 洲崎ほ場は、生育がやや遅れていますが、ひとめぼれの生育調査ほに近い生育になっています。

表2 除塩調査ほの調査結果(7月2日現在)

品種	調査ほ場	移植日 (月/日)	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉数 (枚)	葉色 (SPAD値)
ひとめぼれ	石巻市長面	5/28	44.1	305	9.8	48.5
	東松島市洲崎	5/17	47.9	614	10.1	45.1



写真1 除塩調査ほの生育状況(7/2)
(左:石巻市長面, 右:東松島市洲崎)

乾田直播展示ほの生育状況

- ◎ 本年は苗立ち以降の生育も順調で、草丈、茎数、葉色は平年を上回っています。

表3 乾田直播展示ほの生育状況(7月2日現在)

品種	設置場所	年次	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉数 (枚)	葉色 (SPAD値)
ひとめぼれ	石巻市 桃生町 寺崎	本年	41.4	519	8.2	40.7
		前年差・比	163%	302%	0.7	8.8
		平年差・比	109%	118%	-0.2	2.7

※平年は平成24年から平成28年までの5か年平均



写真2 乾田直播展示ほの生育状況(7/2)

だて正夢展示ほの生育状況

- ◎ 草丈と葉色はひとめぼれ（生育調査ほ）を上回っています。しかし、茎数がひとめぼれの8割程度と少なくなっていますが、ひとめぼれの草型が「偏穂数型」なのに対してだて正夢は「中間型」になっており、品種の特性が表れています。

表4 だて正夢展示ほの生育状況(7月2日現在)

品種	調査ほ場	移植日 (月日)	草丈 (cm)	茎数 (本/㎡)	葉数 (枚)	葉色 (SPAD値)
だて正夢	東松島市 小松	5/3	56.5	520	10.7	43.2
ひとめぼれ		5/5	50.8	639	10.7	40.3

今後の管理

1 水管理 ～ 中干しの終了とその後の水管理 ～

- ◎ 中干しの目安は、土の表面に軽くひび割れが入り、歩くと軽く足跡が残る程度です。幼穂形成期から出穂期にかけては、葉からの蒸散量が多く吸水量も多くなるので、幼穂形成期初期（出穂25日前）頃までには中干しを終了しましょう。
- ◎ 中干し後に急に湛水状態にすると、土壌が強還元状態になって根腐れを起こすことがあるので、中干し直後のかん水は走り水程度に行い、その後は入水と自然落水を繰り返す間断かん水が基本です。

【今後の水管理のポイント】

- 復元田など過繁茂となりやすく倒伏が心配されるほ場では
 - ➡ 根の健全化と茎の充実による倒伏軽減を図るため、飽水管理（足跡の水がなくなったらごく浅めに入水）を行う。
- 直播栽培では
 - ➡ 必要茎数を確保したら直ちに中干しを行う。特に湛水直播栽培（鉄コーティング表面播種等）では倒伏防止のため移植より強めに中干しする。
- 除塩ほ場では
 - ➡ 作土の塩分濃度が高くなる可能性があるため、よく注意し田面を乾かし過ぎない。
- 低温が予想されるときは
 - ➡ 幼穂形成期から出穂・開花までの期間は低温による障害を受けやすいので、天気予報に注意し、日平均気温20℃以下又は最低気温17℃以下の低温が続くと予想された時は、幼穂を保温するために深水管理とする

2 幼穂形成期追肥

- ◎ 次の「幼穂形成期追肥のポイント」を参考に、葉色やほ場条件などに注意しながら実施の有無を判断しましょう。
- ◎ 幼穂形成期以降の極端な葉色低下は、登熟期の窒素栄養状態を悪化させ、玄米品質の低下を招くので、必要に応じて追肥を行い、適切な葉色管理に努めましょう。

【幼穂形成期追肥のポイント】

- 幼穂形成期追肥の目的
 - ➡ 幼穂形成期追肥の目的は、1穂数増加、分けつ減少防止による穂数の増加であり、茎数が不足している場合に効果が高い。
 - ➡ 生育量が過剰な場合には、倒伏の危険性が高まるので注意！
- 品種に適した追肥時期・追肥量（表5参照）
 - ➡ ササニシキ、みやこがねもちは倒伏しやすいので、原則として幼穂形成期追肥は行わない。
 - ➡ つや姫の幼穂形成期はひとめぼれより10日程度遅いので注意！
- 基肥やほ場の地力を考慮
 - ➡ 基肥一発肥料を使用した場合、追肥は基本的に不要。
 - ➡ 黒泥や強グライ土、復元田では、生育後半に地力窒素が出るので注意！
 - ➡ 湛水直播栽培は倒伏しやすいので、幼穂形成期追肥は控える。
- 有機質を含む肥料を追肥するときは
 - ➡ 有機入り化成肥料は通常の化成肥料より肥効が遅く、また有機質肥料の割合が大きいほど肥効の発現が遅くなるので、使用する肥料の特徴を十分理解し、追肥時期を判断する。

表5 幼穂形成期の生育量の目安(目標値)と追肥量

品種	草丈 (cm)	茎数 (本/㎡)	葉色 (SPAD値)	窒素成分追肥量 (kg/10a)	施用時期
ひとめぼれ	62～68	650～700	37～39	1.0	出穂前 25～20日 頃
まなむすめ	65～70	580～600	35～37	2.0	
つや姫	70～75	470～500	35～37	2.0	
だて正夢	59～63	440～480	39～43	1.0	

※ 環境保全米では化成肥料窒素の施肥量の上限が決められているので注意してください。

3 いもち病対策 ～ 葉いもち発生量は「平年並」の予想 ～

- ◎ 県内の葉いもち発生量は「平年並」、発生開始期は平年並の7月第1半旬と予想されています（6月21日 宮城県病害虫防除所発表）。
- ◎ アメダスのデータによれば、6月27日以降に「いもち病感染の好適条件」が県内各地で出現しています。水田の見回りをこまめに行い、葉いもちの早期発見に努めましょう。

4 斑点米カメムシ類対策

～ 出穂10日前までには草刈りを！ ～

- ◎ 雑草や牧草の刈取りは早めに実施し、出穂の10～15日前までには終わらせましょう。

(参考)平成29年の管内の出穂期

地帯区分	始期	盛期	終期
石巻地域 (平年差)	7月29日 (-1日)	8月2日 (±0日)	8月19日 (+10日)

※ 平年は平成24年から28年までの5か年の平均
 ※ 出穂始期、出穂期、穂揃期は、それぞれ水稲作付見込面積の5%、50%、95%以上が出穂した日